

森 り よ う じ

森
が
動
く。



流山市議会議員

討議資料

菅政権が発足しました。デジタル化や縦割り行政の打破など「改革色」を前面に出す姿勢は心強く感じます。

また市議会議員出身と言うキャリアも親近感を持ちます。2000年の地方分権一括法の施行により、「国と地方は対等関係」にあります。地方自治体を起点にした政策にも期待しています。

※新型コロナウイルス感染予防策（マスクなどの着用・フィジカルディスタンスの徹底）をとりながら配布しています。

令和2年10-11月号 森りょうじ リポート。(102号)

～ 森が動く、皆さんと一緒に動く。～

■令和2年度第3回定例会ダイジェスト

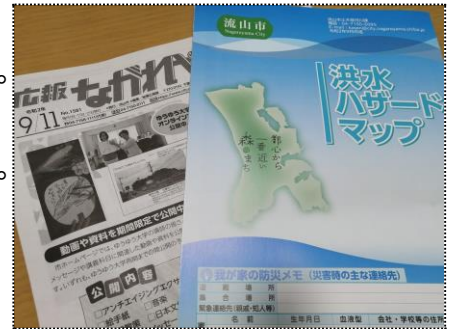
今定例会（9/3-10/6）は議案30件を審議しました。前定例会に続き、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）への対応に関する補正予算が中心となりました。また補正予算（約3.4億円）が追加で上程されるなど、臨機応変な対応が求められる内容でした。

同時に令和元年度の決算審査も行いました。新型コロナの影響は思ったより限定的な印象を受けましたが、影響は令和2年度に出てきそうです。本格的な秋冬の到来を前に、全国で警戒感が高まります。当市も対策条例に基づき、議員一丸となって対応していきたいと思えます。

■洪水ハザードマップが更新されました！

9月に洪水ハザードマップが、全戸配布されました。多くの方が浸水想定区域を確認されたことと思います。

近年は台風やゲリラ豪雨が多発しています。市のホームページでもご覧頂けますので、是非ご確認ください。防災の心得は“備えあれば憂いなし”の姿勢が基本だと思えます。



■ご案内 ～森から皆さまへ～

- ① 駅・街頭活動に際しては感染予防を心掛けた活動様式で行います。ご理解とご協力をお願いします。
- ② 令和2年度第4回定例会の日程案は11/26-12/16です。
- ③ 毎秋開催の市議会主催の報告会は中止になりました。

○1976年6月12日流山生まれ（44歳） ○家族：妻

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社（管理部ほか）

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選（4,508票）

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選（5,830票）

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選（8,961票）

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

森が動く。①

【令和元年度決算審査より】

決算額は歳入ベースで過去最高の625億円でした（前年度比7.4%増）。顕著な人口増により市民税・固定資産税の増加が続いています。税収の増加分を、主に子育て支援や教育に充てる方針は評価すべき点であり、私は「認定（賛成）」としました。今号では審査の中で私が求めた5点について報告したいと思います。

市民を守る専門職の確保を

新型コロナ対応の現場でも活躍する保健師は国家資格者であり、また高い専門知識を持つことから、現在は市政運営の各方面で必要とされる存在です。ただ、その保健師の不足がコロナ禍でも課題となりました。

ウィズコロナ時代、また人口20万人となる当市の保健衛生機能を強化するために、同師の確保は不可欠です。引き続き人材確保や人材育成に向けた取り組みを求めています。

持続可能なリサイクル活動へ

各自治会で実施されるリサイクル活動（団体育成支援事業）ですが、近年は様々な理由から資源ごみの回収量が減少傾向にあり、自治会から対策を求める声があります。



その一方で、回収事業者側に目を向けると、リサイクル事業の経営環境が厳しくなっている実態がありました。回収した資源ごみは、一般的に市場で買い取られるスキームですが、リサイクル資源の世界的な需要低下による市況悪化により、買い取られない回収資源が在庫として増えてしまい、経営を圧迫しているとの悲痛な声が聞こえ始めています。

先ごろ横浜市では回収業者の撤退により、リサイクル資源の回収業務が一時停止した事例も発生しました。市長に対策を求めたところ、事業者を支払う報償費の見直しや、事業の在り方を再検討する旨の答弁がありました。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

計画行政の維持に向けた対策を

行政は3年間・10年間の計画を策定し、その計画に基づき公共インフラ（道路や公園など）の整備を進めていきますが、工事発注に際しては入札を行います。ただ近年はその入札が、不調に終わるケース（入札に誰も参加しないことや予定価格に達しないことが理由）が増えています。



これは行政サービスの低下や停滞に繋がることとなります。令和元年度の入札数は402件でしたが、不調は60件（14.9%）でした。理由を分析し、対応を検討したいと思います。

空き家・空き地の適正管理を

皆さまから頂く相談の多い案件の一つが『近隣の空き家・空き地の適正管理を求めるもの』です。火災・事件発生などの不安によるものであり少しでもお力になりたい分野ですが、私有財産を守る“法律の壁”は高く、解決が難しい案件でもあります。とくに高齢化が進む地域では所有者と連絡が取れないなどの理由から、何年も放置された状態の土地が散見されます。

調査を進めたところ、先進市では管理が行き届かない方、または恐れのある方に対するフォロー体制を整備して、管理不行き届きが常態化しないような対策を講じていました。空き家・空き地に関する相談は増えています。まずは“所有者と行政が常に連絡をとれる体制”が重要と考えており、対策を提言しています。

つくばエクスプレス8両化へ確実な歩みを

令和元年5月に『つくばエクスプレス8両化決定』の方針が示されました。2030年前半（予定）と少し先の計画になりますが、決定したことは大きな前進と捉えています。

一方、発表後に新型コロナの問題が発生し、新しい生活様式のもとリモートや地方分散が進んでいます。乗客減少による計画への影響が懸念されますので、注視をしていきます。

【事務所】流山市中野久木 559-2
TEL & FAX: 7155-3236